

第2号様式（第3条関係）

種雄牛調書

- 1 名号 (登録番号)
 2 生年月日
 3 供用実績

供用年次	年	年	年	年	年
供用方法及び場所					
種付け又は人工授精供用雌牛頭数					
生産頭数					

注 供用方法は、牧牛、引きつけ種付け、人工授精の区分とし、場所は、放牧場又は飼養場所を記入すること。

- 4 産肉能力検定区分及び成績
 (1) 直接法
 (2) 間接法
 5 所有者及び産地
 6 概況
 (1) 測尺

部位	体高	十字部高	体長	胸囲	胸深	胸幅
測尺年月日						
年 月 日						

尻長	腰角幅	かん幅	坐骨幅	管囲	体重	摘要

- (2) 体型の概況
 (3) 生産子牛の状況

7 飼養管理場所及び飼育管理人

- 注1 家畜改良増殖法第32条の2第3項に規定する登録機関の発行する登録証明書及び同法第4条第1項に規定する種畜証明書の写しを添付すること。
 2 依頼する肉用牛が自己の所有でないときは、使用する権利を有することを証する書類を添付すること。
 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。